

# 事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	いわて湯雪王国事業			事業コード	1565
所属コード	132000	課等名	商工観光部観光課	係名	
課長名	村山 悦男	担当者名	菊池 史仁	内線番号	3726
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

## 1 事務事業の基本情報

### (1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	5
	施策	地域資源をいかした観光・物産の振興	コード	4
	基本事業	観光地づくりと観光客の誘致	コード	1
予算費目名	一般会計 7 款 1 項 3 目 広域観光推進事業 (005-01)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	平成 9 年度	
根拠法令等	なし。			

### (2) 事務事業の概要

いわて湯雪王国実行委員会が展開する誘客キャンペーン、旅行商品造成及び受入施設整備（二次交通）に対する負担金の支出並びに当団体に対する指導及び助言。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

平成 9 年に、冬季の観光客誘致の拡大と圏域の交流人口の拡大を促進することによって生じる経済波及効果による地域の活性化を期待するものとして設立された。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

時代の変遷の中で、エリアが重複する広域観光推進団体が複数設立され、また、湯雪王国実行委員会会員事業所の減少等、一団体としての活動が困難になってきたため、平成 23 年度をもつての団体解散が決定した。

## 2 事務事業の実施状況 (Do)

### (1) 対象（誰が、何が対象か）

観光客、市民。

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 実行委員会会員数	団体	31	31	31	30	—
B 観光客	万人 回	459	444	472	466	490
C 市民	万人	30	30	30	30	30

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

実行委員会事務局として事業の企画・事業実施。団体解散に向けた会員施設・団体等への連絡調整及び事業協力。

(4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 実行委員会幹事会等会議開催回数	回	1	2	2	2	—
B ふたりde入浴券販売枚数	枚	9,352	9,097	0	—	—
C 湯雪王国会員バス利用人数	人	57	8	0	—	—

(5) 意図（対象をどのように変えるのか）

(6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 湯雪王国旅行商品での送客数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	人	494	382	—	—	—
B ふたりde入浴券利用枚数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	枚	8,577	7,158	—	—	—
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

## (7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	720	720	720	0
	⑤その他( )	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	720	720	720	720
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	400	400	400	100
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	1,600	1,600	1,000	1,000
計	トータルコスト A+B	千円	2,320	2,320	1,720	1,720
備考						

## 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

### (1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

#### ① 施策体系との整合性

観光客増加を目標として旅行商品造成から取り組んできた。

#### ② 市の関与の妥当性

観光客の増加は経済波及効果による市の活性化に貢献するものであり、観光客増加を目的としている当団体への負担金の支出は妥当であったと考える。

#### ③ 対象の妥当性

現状では、会員、観光客及び地域住民を対象とする事業であった。

#### ④ 廃止・休止の影響

現状では冬季の観光客誘致事業が手薄になる。

### (2) 有効性評価 (成果の向上余地)

### (3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

現会員はすでに相当の負担金・会費を拠出している。また、会員施設を利用する地域住民にとっては、費用負担 (入浴券の購入) をしながら受益者となっていることを踏まえると公平・公正な事業であったといえる。

### (4) 効率性評価

団体の解散が決定。

#### 4 事務事業の改革案 (Plan) . . . . .

(1) 改革改善の方向性

団体の解散が決定したが、引き続き他の広域観光団体等で冬季観光のテコ入れを計画・推進していく必要がある。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

冬季観光は特にも時代の変化に敏感になる必要性があり、今後他の広域観光団体等でもその点のケアが求められる。

#### 5 課長意見 . . . . .

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容